

能登原学区まちづくり推進委員会

委員長 門田 均

（問合せ先） 084-987-4460（能登原公民館）

事業内容

- （1）生涯学習事業（コロナ感染防止のため一部中止 能登原公民館スマホ教室ほか 117人）
- （2）環境事業（通年 能登原学区、能登原小学校清掃活動、阿伏兔海岸看板設置作業 約100人）
- （3）健康及び福祉事業（コロナ感染防止のため一部中止 能登原公民館いきいきサロンほか 134人）



ペタンク大会



いきいきサロン「ユニカール」



みそづくり

- （4）安心・安全事業（11月22日 各自治会一次避難場所避難行動 非常食全戸配布 529人）
- （5）ふれあいまつり（中止）
- （6）ふれあいコンサート（中止）
- （7）とんどまつり（1月10日 地区ごとに行い、小学校での集合は中止 約200人）
- （8）学区花壇整備事業（通年 能登原公民館・学区内5自治会花壇 126人）
- （9）人・まち・ふくしまルシェ2020（中止）
- （10）沼隈町駅伝大会（中止）
- （11）まちづくり推進委員会運営事業（通年 能登原公民館・学区自治会 23人×12回+400世帯）
- （12）能登原小学校ありがとう記念行事積立事業（積立）

成果

コロナ感染防止のため、生涯学習・環境・健康及び福祉・安心安全・とんどまつりなどでは、3密に配慮しつつ活動して日常の生活を維持し、絆を深めた。避難計画の修正や防災倉庫の設置に伴う備蓄の充実・環境ポスター看板設置や花壇整備など、安心・安全な行動を促すことができた。



学区防災倉庫

課題

多くの事業が中止となりより多くの参加を促進できなかった。小学校があと1年で閉校となることもあり、地域に対する愛着や住民の一体感の希薄化を避けるため、学校跡地活用も含め、今後の新たなまちづくり推進に向け住民の意識を高める必要がある。防災意識の日常的継続も引き続き課題である。

課題解決にむけて

「小学校ありがとう記念行事」を企画し、地域住民の記憶と記録に残る活動を一体的に展開し、跡地活用については地域全体の課題として、前向きにまちづくりをすすめていく。単位自治会での防災態勢組織化・学区防災倉庫への備蓄を更に進め、災害時避難要支援者や隣保班を再確認する。



災害備蓄品

みんなで築く住みよい環境の町～当たり前前を当たり前前～

コロナに負けない！

●学区花壇整備事業～各地区の花壇整備に一荷合力・協働で～

Before → After



桜地区花壇 「名称募集中」



白浜公園

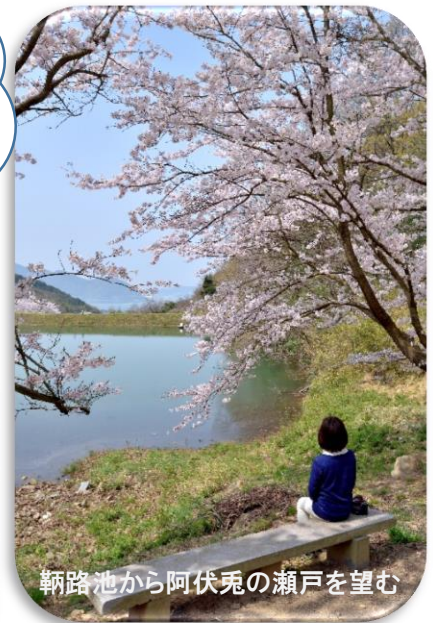


環境美化活動

まつりなど行事はできなくても、みんな
で能登原の豊かな自然を守る営みが、絆



韮路地区 桜の消毒



韮路池から阿伏兎の瀬戸を望む

●環境事業 ～年3回のクリーン作戦で海岸のごみ対策⇒小学校児童のポスターの看板設置～

